

# Gaku が受験した時に注意したこと

【一部 WebPage の内容を省略している箇所があります。細かな個所までの確認は WebPage で (≧▽≦)】



## ○試験の準備

服装は長袖・長ズボン。出来ればバイク用が良。

靴なども普段から使用していて、運転しなれた物が良いと思います。

雨の日でも基本的に試験があります。雨が降りそうな場合、カッパの準備（出来るだけ風でバタつかないもの）もお忘れなく。

試験当日は、早めに行ってコースの確認、下見（コース使っていない時に出来ます）をした方がいいです。コースは完璧に覚えていないと、ほぼ確実に落ちます。

受験時は「1回で合格する」なんて考えずに、『何回か落ちて当然』っていう様な気持ちで臨みましょう。肩に力が入りすぎると、良い運転が出来ませんので (^\_-)-☆

## ○乗車・発進 ※【誤記】 2020.11.07 発進時の合図が『左ウインカー』となっていたのを『右ウインカー』に修正。

『バイクの前後確認』→『サイドスタンドを外す』→『後方確認して乗車』→『ミラーを合わせる』→『キルスイッチの確認』→『エンジン始動』→『ローギアに入れる』→『右足をフットブレーキに』→『右ウインカー』→『左右の後方確認（左後方も忘れずに）』→『発進』

## ○コース走行時

- ・一番重要だと思ったのは、ちゃんと『出せる時は、しっかり加速』すること。  
試験官が『バイクに乗れてないな』って思われると、合格はムリな気がします。
- ・発進したら、基本止まってははいけません。止まっていい場所は、【赤信号の場合の交差点の停止線】  
【止まれの標識がある停止線】【一本橋の停止線】【踏切の停止線】【急制動で停止した場所】  
【最後に発着点で止まる停止線】です。それ以外では、止まってははいけません。確認も動きながらすべて行う必要があります。（その時にふらついていないかを見られています。）
- ・右左折の手順については、曲がる交差点の事だけを考えて行う。（曲がる交差点までにその他の交差点があったとしても、『無視して』曲がる交差点の 30m 手前から右左折の手順を行う。  
信号のある中央交差点が途中にあったとしても【完全無視】です（≧▽≦)ノ
- ・『確認行為』が重要視されます。交差点を直進する際にも、【しっかり左右確認】を行きましょう。
- ・『壁』がある【見通しの悪い交差点（見通しが良いと思っても壁があればやってね）】では、身を乗り出して左右確認をする。（停止線から再発進して、少し前に出て停止し、もう一度確認するのは OK【二段階停止】）
- ・課題の『スラローム』『一本橋』は、タイムの事なんか考えずに『無理』しない。  
『早く行かな』とか、『遅くいかな』とか考えてると、【目線が落ちて近くばかり見てる】感じになっちゃいます。大事だと思ったことは、【目線を遠くに】【運転姿勢を整えて】ってことですね。
- ・【波状路】については、【リラックス】することです。足の力を抜いて、【膝を少し曲げて】挑みましょう！緊張すると、【足がピーーン】と伸びちゃってることが多いので (\*'▽')  
コース的にクランク・S 字からの『連続した右左折』で進入することになります。  
忙しいですが、S 字進入してからは【波状路までのやる事】を考えるようにしましょう。
- ・【急制動】は、手前でしっかり加速して【アクセル OFF】。40km の場合、45km くらいまで加速してから、アクセル OFF にする感じです。惰性で走行して、ブレーキポイントで【しっかり前後輪を使って】ブレーキです。【思いっきりブレーキしなくても】全然止まりますので、無理しないように (\*´3`)
- ・【坂道】は、手順をしっかりとすれば OK です。決して下がらないように。  
下りは【ローギア】のまま、【エンジnbrake】しっかり使ってね ('ω')ノ
- ・【踏切】も、しっかり停車して【目で確認】【音も確認】しっかりね。
- ・最後の最後まで気を抜かずに。発着点でポール行きすぎたりしないでね。  
ポールに前輪をしっかり合わせて止まりましょう。